

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉交響楽団	県所管課	環境生活部スポーツ・文化局 文化振興課
代表者	理事長 田谷 徹郎	電話	043-223-2406
所在地	千葉市中央区市場町11番2号		
電話	043-222-4231		
設立年月日	昭和60年4月16日		
ホームページ アドレス	<a href="https://www.chibakyo.jp/index.html">https://www.chibakyo.jp/index.html</a>		
事業内容	演奏会の開催 音楽鑑賞教室の開催 音楽に関する講座の開設 ほか		

1 出資等の状況(R4.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	65,300
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	25,000	38.3%	1	
太陽堂印刷	11,000	16.8%	2	
千葉銀行	4,000	6.1%	3	
千葉市	1,500	2.3%	4	
船橋市	1,500	2.3%	4	
千葉興業銀行	1,500	2.3%	4	
東京電力千葉支店	1,500	2.3%	4	
東京ガス千葉支店	1,500	2.3%	4	
市川市	1,000	1.5%	9	
松戸市ほか12者	16,800	25.7%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R4.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

### 3 財務状況

#### (1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総資産	108,689	135,707	145,058
負債	3,704	38,036	41,863
(うち有利子負債)	0	30,000	30,000
純資産	104,985	97,671	103,195
累積損益(利益剰余金)	39,364	31,746	36,064

#### (2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	174,294	117,624	172,636
経常損益	△262	△7,619	4,318
当期損益	△262	△7,619	4,318
減価償却前当期損益	△262	△7,619	4,318

### 4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
借入金残高	0	30,000	30,000
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	30,000	30,000
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)⇒総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

## 5 県の財政支出の状況

### (1) 委託料・補助金等

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料	特別支援学校巡回コンサート 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業 元気いっぱい! ちばファミリーコンサート(南総) (R2)	14,321	8,575	8,846
補助金・交付金・負担金	運営費補助 音楽鑑賞教室事業負担金 県民芸術劇場事業負担金	54,040	30,362	47,575
合計		68,361	38,937	56,421

### (2) その他

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの		0	0	0
合計		0	0	0

### (3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料のうち再委託したもの		0	0	0
再委託のうち入札によるもの		0	0	0
再委託のうち随意契約によるもの		0	0	0

## 6 役職員の状況

### (1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常勤役員数	2	2	2
うち県退職者	2	2	2
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	15	16	17
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0

### (2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(2人)	2人(2人)	2人(2人)
役員平均年齢	*	*	*
平均年収(千円)	*	*	*
職員数(県派遣又は県OB)	15人(1人)	16人(1人)	17人(1人)
職員平均年齢	54歳	54歳	54歳
平均年収(千円)	3,700千円	3,531千円	3,036千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※役職員数は実人員を記入してください。

令和4年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例: 4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

※令和4年度の平均年収については推計となる。

## 7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	関与縮小
改革方針(概要)	依頼演奏会事業や寄附金等の獲得のための営業活動を積極的に実施し、収入源を増やすとともに、徹底した経費の見直しにより経営基盤を確立し、県依存型経営から速やかに脱却する。
取組状況	<p>当財団は財団自ら作成した経営改善計画(平成28～32年度)に従い、自立に向けた経営改革に取り組んできた。</p> <p>平成30年度の間検証では、28・29年度における経営改善計画の項目ごとの目標値を確認したところ、法人会員・支援会員の人数、会費・寄付金の合計額は大幅に上回っており、また、依頼公演数は横ばいであるものの収入額が大幅に上回った。さらに自主演奏会は入場者数・入場率ともに計画を大きく上回るなど、各項目とも計画を上回った。これらにより、中間検証においては、財団全体の収支差額は計画を達成した。</p> <p>計画目標を上回った要因としては、山下音楽監督が自ら広告塔となり、理事長とともに、多様な企業、団体等に積極的な営業活動を行うとともに、事務局内の経費を見直し、効率化を図ったことなどが挙げられる。</p> <p>しかし、令和元・2年度においては、台風等の災害や新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの演奏会等が中止になったことにより、演奏機会が減り事業収入が減少した結果、計画の達成には至らなかった。</p> <p>令和3年6月には新たな経営計画(令和3年度～令和7年度)を策定し、音楽性の向上や地域に密着した活動の展開、自立型運営への移行(演奏会等の事業展開、事務局機能の強化等)等を基本方針とし、安定した経営基盤のもと、千葉県民に愛され、親しまれる楽団を目指すこととしている。</p>
その他(特記事項等)	<p>令和4年12月27日付けで関与方針を策定した。</p> <p>○区分: 関与維持(県と連携した経営改善)</p> <p>○県としての具体的な取組</p> <p>① 団体の経営基盤を確立するため、業務の効率化や依頼演奏会の開催、寄附金等の獲得などによる、経費削減及び自主財源の一層の確保を求める。</p> <p>② 更なる文化芸術振興及び団体の経営安定化を図るため、団体の体制強化を目的として、財政的な支援等のあり方を見直しを検討する。</p>

\* 平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。